

処置(1):君ならどうする？

国家試験で**救急外来**患者への対応も知識としては覚えたでしょう。しかし「**生きた学問**」とすることがこれから必要です。

「**ハチ刺され**」は、夏場よく救急外来でみることあります。多くは軽傷で、「**救急処置マニュアル**」を見ながら対応できるかも知れません。

しかし、**アナフィラキシーショック**状態ではのんびりしてはいられないですよ。しっかり対応できるよう知識、**処置**を整理しておいてください。

108回 E問題 57

42歳の男性。呼吸困難のため搬入された。庭で木の伐採をしていたところ、蜂に刺された。大丈夫と思い様子を見ていたが、数分後に呼吸困難が出現し、救急車で搬送された。

意識レベルは **JCS I - 2**。脈拍 84/分、整。血圧 80/58 mmHg。呼吸数 32/分。SpO₂ 93 % (リザーバー付マスク 10 l/分 酸素投与下)。顔面は蒼白で口唇に浮腫を認める。頸静脈の怒張を認めない。心音に異常を認めない。吸気時に喘鳴を聴取する。胸腹部、背部および四肢の皮膚に膨疹が多発している。

急速輸液とともにまず投与すべきなのはどれか。

- a リドカイン
- b アトロピン
- c アドレナリン
- d ヒドロコルチゾン
- e プロプラノロール

解答C: 難易度Aランク

JCS 3-3-9度方式

Japan Coma Score 思い出して

- **I 刺激しないでも覚醒**
 - だいたい清明だが、今ひとつはっきりしない 1
 - **見当識障害がある** 2
 - 自分の名前・生年月日が言えない 3
- **II 刺激をすると覚醒し、刺激をやめると眠り込む**
 - ふつうの呼びかけで開眼する 10
 - 大きな声または体を揺さぶることにより開眼 20
 - 痛み刺激を加え呼びかけを繰り返すとかろうじて開眼 30
- **III 刺激しても開眼しない**
 - 痛み刺激に対し、払いのけるような動作 100
 - 痛み刺激で少し手足を動かしたり顔をしかめる 200
 - 痛み刺激に反応なし 300

4. 46歳の男性。ハチに刺された後に呼吸困難を訴え受診した。5年前に同様のエピソードで搬送されたことがある。脈拍108/分、整。血圧78/46mmHg

まず投与すべき薬剤はどれか。

- a. アトロピン
- b. ドーパミン
- c. アドレナリン
- d. テオフィリン
- e. プレドニゾロン

【解答】c

【解説】

⇒アナフィラキシーショックですね。救急対応の必要な病態です。

- a. アトロピン ⇒いろいろな病態で使用されますが、アナフィラキシーには関係ありません。
- b. ドーパミン ⇒昇圧剤ですね。これも関係ありませんね。
- c. アドレナリン ⇒この薬剤が必要です。素人でも打てるように開発されています。
- d. テオフィリン ⇒喘息のくすりです。
- e. プレドニゾロン ⇒ アナフィラキシーには有効な薬剤ですが、即効性がありません。蜂に刺されて死亡するひともあります。初期対応画大切ですし、又その関係の職業の人には指導が必要です。

医師がこのエピペンを処方するには、Web上で講習を受け、エピペンの「処方医登録」が必要です。

エピペン®



正しくお使いいただくために

「エピペン」は、医師の治療を受けるまでの間、アナフィラキシー症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤(アドレナリン自己注射薬)です。

私が経験した症例は「新潟県立病院医学会誌」に報告してあります。追加経験症例も合わせ君らにカラーで紹介しよう

当院に於けるハチ刺症の検討

新潟県立津川病院

小林英司 藤巻尚

瀬賀弘行 後藤俊夫

阿部昌洋

石川医院

石川巖

鹿瀬診療所

渡部信

(小林英司、他:当院におけるハチ刺症の検討. 新潟県立病院 医学会誌 39:1-4, 1991)

症例2：62歳・女 以前、数回ハチ刺されの既症あり。平成2年8月1日 AM9:10 アシナガバチに顔面を刺された。意識喪失し9:20 〇〇診療所へ搬入。脈触知不能、ただちに点滴開始した。ボスミン、プレドニン等使用し、10分後には血圧70 mmHg となった。酸素吸入施行しながら救急車で9:50 当科入院となった。



(小林、他。新潟県立病院 医学会誌 1991)

その他の症例

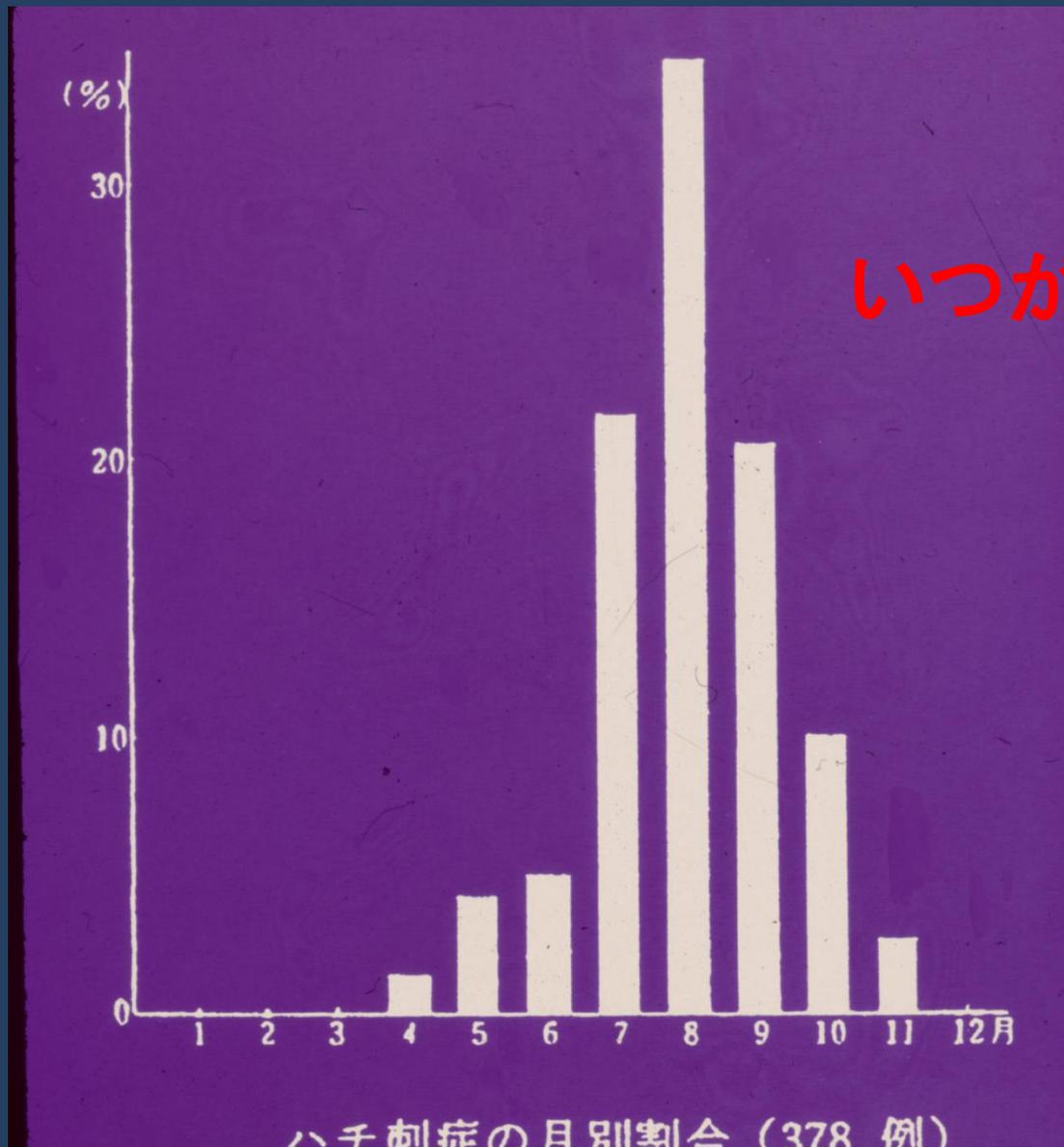


顔面、特に
目の周囲
が狙われる

その他の症例



カルテ病名から集計した「ハチ刺傷」



重症例が必ずしも既存抗体を持っているわけではない

IgE抗体値

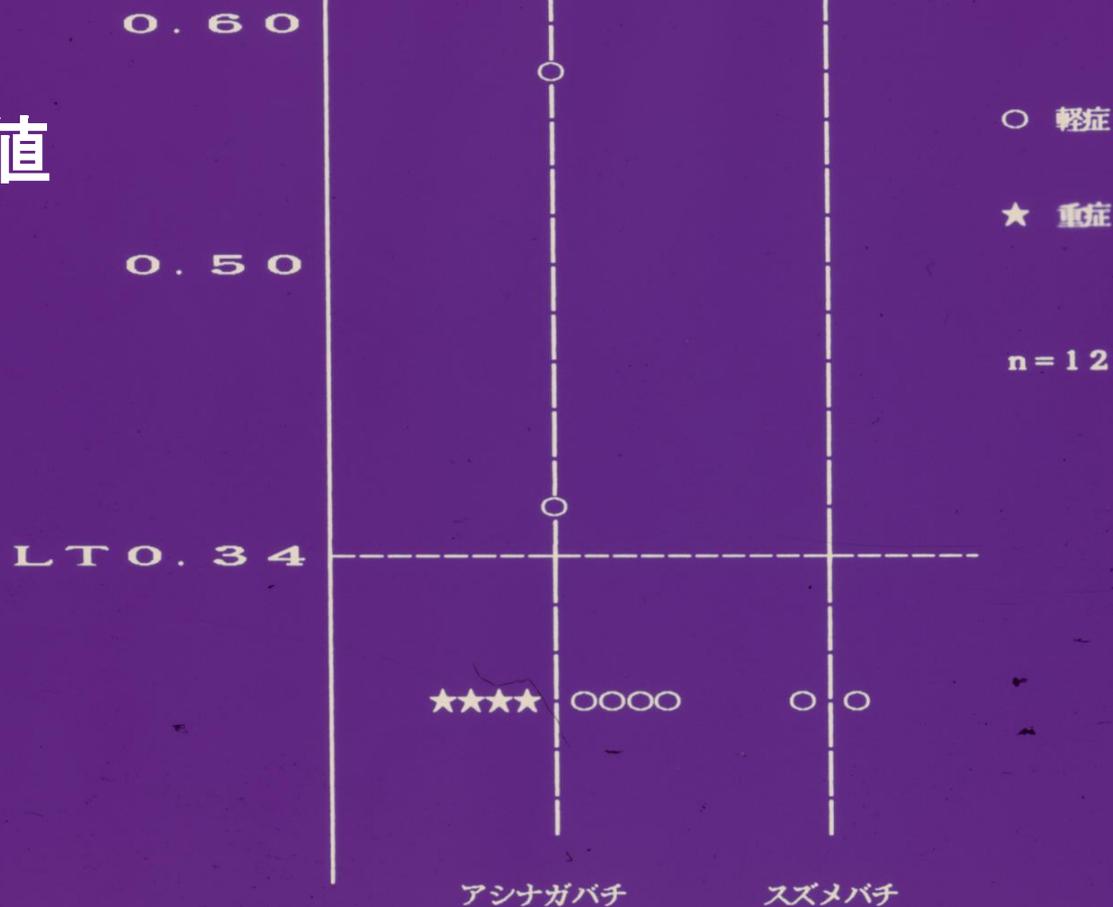


図1 IgE抗体(特異的)測定結果

(小林、他。新潟県立病院 医学会誌 1991)

「ハチ刺傷」に対する一般的注意

1. ハチの特性について

急激に動くものに警戒する。

顔面、特に眼に飛来しやすい。

ハチはとまってから前方に刺す。

臭い（化粧品、甘味料等）に集まる。

2. 自己の着衣について

花模様や黒い衣服を避ける。

露出部を少なくする。

3. その他

洗濯物の取り込み時注意。

自動車の窓からの飛来に注意。